

チリ（2025年度）

- [国・地域別情報トップページへ](#)
- [各国・地域情勢](#)
- [在チリ日本国大使館](#)

1. 2024年度日本語教育機関調査結果
2. 日本語教育の実施状況
3. 教育制度と外国語教育
4. 学習環境
5. 教師
6. 教師会
7. 日本語教師派遣情報
8. シラバス・ガイドライン
9. 評価・試験
10. 日本語教育略史

1.2024年度日本語教育機関調査結果

| 初等教育 | | | 中等教育 | | | 高等教育 | | | 学校教育以外 | | | 全体の合計 | | |
|------|-----|------|------|-----|------|------|-----|------|--------|-----|------|-------|-----|------|
| 機関数 | 教師数 | 学習者数 | 機関数 | 教師数 | 学習者数 | 機関数 | 教師数 | 学習者数 | 機関数 | 教師数 | 学習者数 | 機関数 | 教師数 | 学習者数 |
| 1 | 1 | 10 | 0 | 0 | 0 | 4 | 12 | 332 | 9 | 35 | 576 | 14 | 48 | 918 |

（注）2024年度日本語教育機関調査は、2024年9月～12月に国際交流基金（JF）が実施した調査です。また、調査対象となった機関の中から、回答のあった機関の結果を取りまとめたものです。そのため、当ページの文中の数値とは異なる場合があります。

[「海外日本語教育機関調査」のページへ](#)

2.日本語教育の実施状況

全体的状況

沿革

1975年に日智文化協会において、学生や社会人など広く一般人を対象とした日本語講座が開設されたのが始まり。その後、1993年にサンティアゴ大学（国立）において選択科目として日本語講座が始まり、1995年には5年制の翻訳課程（英語・日本語専攻）が人文学部に開設された。2003年以降は日本語を選択科目に取り入れる大学や日本語教育機関（語学学校）の増加傾向が見られる。

背景

日本とチリの関係は、要人往来の活発化を中心とする政治的関係や、経済連携協定（EPA）やCPTPP（環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定）を通じた経済関係のみならず、日本料理やマンガ、アニメなどに対する人気が高まるにつれて、チリ人の間にも日本に触れる機会が身近に増え、日本文化全般に

対する関心が高まっている。

2020年のパンデミック前から、日本語教育を行っていた各機関は、主に対面形式で授業を実施している。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行期間中、日本語教育機関はすべてオンライン授業へ移行した。2022年以降、一部の機関は対面授業を再開したが、対面授業とオンライン授業を組み合わせたハイブリッド形式を採用する機関や、恒常的にオンライン形式を継続する機関も存在する。

オンライン形式は、教育スペースの維持に関わる運営コストを削減することを可能にし、また、地方在住者や、仕事や学業の都合により通学が困難な学習者も受講が可能であることから、個人の家庭教師がSNSを通じて日本語講座を提供するケースも増加している。

これらのオンライン及び個人授業は正式な教育機関に属さないため、日本語学習者数の正確な把握は困難であると言える。

特徴

チリでは、外国語としての英語教育は小学校から始まるが、インターネットや外国のコンテンツ、技術的なツールに広くアクセスできるようになったことで、他の外国語習得への関心が、特に若年層の間で広まってきている。この流れの中で、日本語学習の要望も増加している。

チリ人にとって、日本語学習のきっかけは、日本文化への関心、母語であるスペイン語と全く異なる言語の学習への挑戦など、非実利的な傾向が一般的であるが、経済的・技術的に発達した日本との結びつきから、留学、就職を意識した学習者も増加している。

最新動向

チリにおける日本語教育は、大学専門課程のサンティアゴ大学、一般人向けの中央日本人会、日智文化協会、日本総合学習センターなどで行われているほか、外国語学校や日本人会などでも行われている。さらには、日本の伝統文化への関心のみならず、若者層を中心に、特にマンガ、アニメ、音楽などのポップカルチャーの人気が高まっており、多くのチリ人がインターネットなどを通じて最新情報を入手している。また、日本のアニメを専門に放映するケーブルテレビ、日本のアニメイベントなどもある。

2025年のチリ国内の JLPT 受験者数は 516 人に達し、2011年の試験開始以降、過去最多を記録した。2024年と比較すると、受験者数は 23.2%増加し、継続的な増加傾向を示している。また、パンデミック以前の 2019年と比較すると、受験者数は 109.8%増加し、2倍以上となる。これらの数値は、現在の JLPT 受験への関心が顕著かつ継続的に高まっていることを明確に示している。

一方で、日本語学習への関心が高まる中、日本語教師（特に日本人教師）が不足しており、日本語学習の需要をカバーしきれないのが現状である。

2024年、Chartwell International School において、小学校課程の児童を対象に、日本語が選択科目として導入されたが、同年末に中断された。

2024年に、クリスト教ヒューマニズム大学（Universidad Academia Humanismo Cristiano）の日本語授業が中断された。

2025年3月、レコレタ市が運営する教育プロジェクトである Universidad Abierta de Recoleta（正式な大学ではない）が閉鎖され、日本語授業も終了した。

2025年に、日智日本文化協会は、メトロポリタン技術大学（Universidad Tecnológica Metropolitana）において、日本語を選択科目として開講した。同様に、2026年1月から、ミゲル・デ・セルバンテス大学

(Universidad Miguel de Cervantes) においても、同様に選択科目として日本語授業が開始される予定である。

2026 年、コンセプション大学 (Universidad de Concepción) の日本語授業は、日本語教員の人材不足のため中断された。

教育段階別の状況

初等教育

Colegio Bonsai Montessori オンライン小中併設校で 2022 年から選択科目の日本語講座が開設された。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

(注：チリの教育は、下記のとおり、初等、中等、高等教育の 8-4-4 制。)

高等教育

チリでは、高等教育が卒業後の職業と直結して考えられる傾向が強く、大学で外国語を専攻した場合、教員養成、翻訳者養成のコースがほとんどである。4 年生まで修了すると学士号、5 年生までの全課程を修了すると翻訳家の資格が授与される。

(1) サンティアゴ大学 (Universidad de Santiago de Chile : USACH)

南米スペイン語圏における高等教育機関で唯一、正式専攻課程としての日本語教育が行われている。1993 年に選択科目としての日本語講座が設置され、1995 年からは、人文学部言語文学学科翻訳課程に 5 年制の英語・日本語専攻としての日本語講座が開設された。2013 年には翻訳課程のカリキュラムが改訂され、1 年次に英語、日本語、ポルトガル語を学び、2 年次に英語・日本語専攻か英語・ポルトガル語専攻を選択するというカリキュラムになった。翻訳課程であるため、日本語、文法、作文などのほか、翻訳、通訳などの科目も学ぶ。毎年入学希望者が増えており、国内における知名度も上がっている。課外活動として、チリの主要大学に留学中の日本人学生や在留邦人と交流する機会を定期的に設けている。また、毎年日本語専攻の学生たちが自主企画として「日本祭」という文化祭を開催している。

卒業時の到達レベルは日本語能力試験 N3 レベルだったが、2009 年より能力試験 N2 合格を目指したプログラムを実施した。新カリキュラムでは N2 合格レベル到達を卒業条件にし、現在はそれに向けたシラバスを実施している。英語・日本語翻訳家の資格を取得することができる。文部科学省国費留学生、また国際青年交流事業などで短期渡日する者が毎年数名程度おり、日本企業の進出が進む中、卒業生で日本関連業種に就職する者も増えてきている。なお、サンティアゴ大学には、日本語課程（専攻）のほかに選択科目としての日本語講座もある。

2025 年 9 月 30 日、サンティアゴ大学は日本語プログラム創設 30 周年記念式典を実施した。

2024 年末時点で、本課程は第 25 期まで修了し、卒業生の累計は 464 名に達する。大学内でのデモ抗議活動の影響により授業が中断していたため、2025 年度後期は 2026 年 3 月初旬まで延長して実施される。そのため、2026 年 1 月時点では、第 26 期（在籍者数 25 名）はまだ卒業していない。

(2) その他の大学

選択外国語科目として、次の日本語講座が開設されている。

- カトリカ大学 文学部 (Universidad Católica, Facultad de Letras)、私立、サンティアゴ、2016 年
- アメリカ大学 (Universidad de Las Americas) 私立、サンティアゴ、2021 年
- チリ大学 人文科学・哲学部 (Universidad de Chile, Facultad de Filosofía y Humanidades)、国立、サンティアゴ、2022 年
- メトロポリタン技術大学 (Universidad Tecnológica Metropolitana)、国立、サンティアゴ、2025 年
- ミゲル・デ・セルバンテス大学 (Universidad Miguel de Cervantes)、私立、サンティアゴ、2026 年

学校教育以外

チリ中央日本人会、第 5 州バルパライソ日系人協会のほか、日智文化協会 (Instituto Cultural Chileno Japonés : ICCJ)、日本統合学習センター (Centro de Estudios Integrales de Japón : CEIJA)、アラメダ言語学校 (Escuela de Idiomas Alameda)、オンライン言語センター 「オラ・ハポネス」 Hola Japonés、Learn Academy においてそれぞれ日本語教室が開設されている。

2022 年から、弁論大会に代わり、オンライン形式の「チリ日本語朗読発表会」が実施されている。同大会は 2022 年、2023 年及び 2025 年に開催し、JF の支援のもと、複数の教育機関に所属する教師が共同で運営に携わる。

3.教育制度と外国語教育

教育制度

教育制度

8-4-4 (～6) 制。

幼稚園 1 年間 (5 歳)、初等教育が 8 年間 (6～13 歳)、中等教育が 4 年間 (14～17 歳)。高等教育機関は大学 (専門により 4～6 年)、技術専門学校 (専門により 2～3 年) がある。初等教育 8 年間と中等教育 4 年間の計 12 年間は義務教育とされている。

教育行政

すべて教育省 (Ministerio de Educación) の管轄下にある。

言語事情

主要言語 (公用語) はスペイン語。

外国語教育

公立校では、一般に初等教育 5 年生より英語が教えられている。就学前教育あるいは小学校 1 年生から教育を開始する機関もある。以前は 7～8 年生の 2 年間、第二外国語としてフランス語が教えられていたが、2002 年より選択制となった。私立校では学校により事情は大きく異なる。

外国語の中での日本語の人気

一般的に英語以外の外国語はあまり重視されておらず、日本語学習者についても、チリは日本からの計画的移民の歴史がなく日系社会の規模も小さいことから、近隣諸国と比べると日本語学習の需要は少なかった。しかしながら、上記のとおり教育機関数や学習者の増加が見られること等に鑑みれば、日本語の人気・ニーズは上昇傾向にあると考えられる。

大学入試での日本語の扱い

大学入試で日本語は扱われていない。

4. 学習環境

教材

初等教育

2022年から Colegio Bonsai Montessori オンライン小中併設校で選択科目の日本語講座が開設された。主に、『まるごと 日本のことばと文化』 来嶋洋美、柴原智代、八田直美（国際交流基金）、『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）及び『漢字ベーシック』 山下杉雄、大西匡輔（明治書院）が利用されている。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

主に使われているテキストは『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）と『まるごと』 来嶋洋美、柴原智代、八田直美（国際交流基金）。

サンティアゴ大学の日本語専攻では以下の教科書も利用している。

- ・『いろどり 生活の日本語』（国際交流基金日本語国際センター編著）
- ・『漢字ベーシック』 山下杉雄、大西匡輔（明治書院）
- ・『漢検漢字学習』 公益財団法人日本漢字能力検定協会（公益財団法人日本漢字能力検定協会）
- ・『できる日本語』 嶋田和子（アルク）
- ・『総まとめ』 佐々木仁子、松本紀子（アスク）
- ・『完全マスター』 田代ひとみ、宮田聖子、荒巻朋子（スリーエーネットワーク）
- ・『中・上級のための速読の日本語』 岡まゆみ（The Japan Times）
- ・『小論文への12のステップ』 友松悦子（スリーエーネットワーク）
- ・『大学生になるための日本語』 堤良一、長谷川哲子（ひつじ書房）

学校教育以外

『みんなの日本語』スリーエーネットワーク（スリーエーネットワーク）と『まるごと』 来嶋洋美、柴原智代、八田直美（国際交流基金）がよく使われている。

IT・視聴覚機材

サンティアゴ大学では、総合日本語の授業や学生の研究発表などにおいてほぼ毎時間パワーポイントを使用しており、DVDなどのメディア教材も多用している。教材の配布、課題の提出、学生との連絡には専用のサイトやメーリングリストを活用している。また、インターネットを利用した情報収集の方法を指導しているほか、日本語学習のサイトやスペイン語による日本関係のサイトなどを学生に紹介している。他機関においても、メディア教材やコンピューターが授業に活用されている。独習者の場合、インターネットでアニメや漫画を通じて勉強するとよく聞かすが、2020年10月時点でJFのプラットフォーム「MINATO」のオンラインによるコースを使う学習者が増えた。

オンライン授業が、Zoom、Microsoft Teams、Google Formsなどを用いて行われている。また授業の準備をする際にも各種インターネットソフトやアプリなどが利用されている。

2025時点で、教材作成におけるAIツールも活用されている。

5.教師

資格要件

初等教育

選択科目としてのコースが教育カリキュラムに含まれていないため、特に資格や条件は設定されていない。他方、教育カリキュラムには含まれていないものの初等教育レベルで日本語を教えている教師は、サンティアゴ大学で日英翻訳の学位を取得している。

中等教育

日本語教育の実施は確認されていない。

高等教育

特に日本語教師としての資格要件は設定されていない。実際に日本語教師になっている者は、学士号を持ち（専門不問）、外国語教育についてある程度の経験を持っている。チリ人が大学の正式な教員となるためには、日本語、言語学関連の修士号以上を取得していなければ難しい。

学校教育以外

特に日本語教師としての資格要件はない。

日本語教師養成機関（プログラム）

日本語教師養成を行っている機関、プログラムは確認されていない。

日本語のネイティブ教師（日本人教師）の雇用状況とその役割

2026年1月時点で、常設講座のポスト（54名）では、27%の教師（15名）が日本人である。日系人を含むチリ人講師が増加傾向にある。

大学と民間機関において、複数の日本人教師が日本語講座を担当している。

注：複数の教育機関で勤務する教師が存在し、同一人物が重複して計上されている可能性があるため、本数値は述べ人数の可能性はある。

教師研修

チリからは毎年日本で実施される日本語教師研修に参加している。

また、2015年～2025年に実施された南米スペイン語圏日本語教育連絡会議にチリから日本語教師が参加した。2016年～2019年には、日本語教育専門家のチリ訪問の機会を捉え、日本語教師を対象とした研修会が実施された。2025年10月20日、サンティアゴ大学の主導により、実施された日本語教師を対象とした研修会では、JF リマ日本文化センターの日本語専門家が指導した。

さらに、サンティアゴ大学は、2014年～2016年に、外国語としての日本語教育セミナーを開催した。

2024年に南米スペイン語圏日本語教育連絡会議がサンティアゴ市においてハイブリッド形式で実施された。

6.教師会

日本語教育関係のネットワークの状況

2003年5月にチリ日本語教師会が発足したが、これまで断続的に活動が中断されている。

最新動向

2019年からメーリングリストやオンライン会議を通じて日本語教師が日本語に関する情報共有や意見交換を行っている。

2026年1月時点、日本語朗読発表会において共同で活動した経験を通じ、一部の教師の間で、日本語教師の正式な組織を設立したいという関心が高まっている。

7.日本語教師派遣情報

国際交流基金からの派遣

国際協力機構（JICA）からの派遣

JF、JICAからの派遣は行われていない。

その他からの派遣

なし

8. シラバス・ガイドライン

統一シラバス、ガイドライン、カリキュラムは確認されていない。

9. 評価・試験

共通の評価基準や試験は確認されていない。

2011年12月より日本語能力試験が実施されており、現在は7月と12月の年2回行われている。

10. 日本語教育略史

| | |
|-------|---|
| 1975年 | 日智文化協会に日本語講座開設 |
| 1993年 | サンティアゴ大学人文学部に選択日本語講座開設 |
| 1995年 | 同大学人文学部言語文学学科に翻訳課程英語日本語専攻開設 |
| 2002年 | アウストラル大学に課外日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2003年 | 同講座が正式の選択科目になる 国立高校「Instituto Nacional」に課外日本語講座開設（現在は閉鎖） カトリカ・デル・ノルテ大学に日本語クラブ開設（現在は閉鎖） チリ中央日本人会に成人対象の日本語講座開設 |
| 2004年 | 小学校2校（エルターボ）に日本語講座開設（現在は閉鎖） 第5州バルパライソ日系協会に日本語講座開設 カトリカ・デル・ノルテ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2005年 | ラ・セレナ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2006年 | アコンカグア大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） カトリカ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2007年 | 日本統合学習センター（CEIJA）に日本語講座開設 「日本の心」（Cdj）語学学校開設（現在は閉鎖） |
| 2009年 | 実行委員会主催による初の全国規模の弁論大会開催 アジアグローバル（日本語、中国語などのアジアの言語・文化を扱う） が初等・中等教育機関と連携し日本語講座を実施（現在は閉鎖） 「第1回チリ共和国日本語教育セミナー」開催 |

| | |
|--------|---|
| 2011年 | 日本語能力試験実施開始 チリ大学（法学部）に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） ルカリウエン文化センターに日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2013年 | コンセプション大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2016年 | タルカ大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） カトリカ大学（文学部）に選択日本語講座開設 |
| 2017年 | Liceo B. Carmela Carvajal de Prat 女子高等学校に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） Universidad Abierta de Recoleta レコレタ区立開放的教育機関に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2019年 | Learn Academy 日本語学校開設 |
| 2020年 | オンライン言語センター「オラ・ハポネス」（Hola Japonés）に日本語講座開設 |
| 2021年 | アラメダ言語学校（Escuela de Idiomas Alameda）に日本語講座開設 アメリカ大学に選択日本語講座開設 |
| 2022年 | Colegio Bonsai Montessori オンライン小中併設校に選択日本語講座開設 チリ大学（人文科学・哲学部）に選択日本語講座開設 |
| 2023年 | クリスト教ヒューマニズム大学に選択日本語講座開設（現在は閉鎖） |
| 2024年 | 南米スペイン語圏日本語教育連絡会議がサンティアゴ市においてハイブリッド形式で実施 |
| 2025年 | メトロポリタン技術大学選択日本語講座開設（日智日本文化協会が担当） |
| 2026年月 | ミゲル・デ・セルバンテス大学に選択日本語講座開設（日智日本文化協会が担当） |

情報更新についてのお願い

この国の日本語教育に関する情報がありましたらお知らせくださるようお願いいたします。
なお、内容の確認のため、こちらからご連絡する場合があります。

Eメール：kuniketsu@jpf.go.jp

（メールを送る際は、全角@マークを半角@マークに変更してください）